

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月29日	記入者		連絡先	2682	
平成18年度部名	保健福祉部	課名	障害福祉課	課長名	篠崎 正義	
平成19年度部名	福祉部	課名	障害福祉課	課長名	原 修	
事務事業名	保育支援検討委員会					
予算上の事務事業名	保育支援検討委員会					
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加					
施策名	第2施策 療育体制の整備と保育・教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	市保育支援検討委員会運営要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名	相模原市障害者福祉計画			障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画（前期10～14、中期15～18、後期19～22）		
計画年次	10	年度～	12	年度		
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会			5 事業開始年度	平成2年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					
要援護児の処遇の推進 障害児の保育園・幼稚園入園等に伴う統合保育への処遇の決定				(2) 対象（誰、何）		
				保育園・幼稚園に在園または入園している児童（障害児等）		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
保育園・幼稚園に在園または入園している児童（障害児等）の統合保育への処遇を検討						
(平成18年度実績)						
・検討委員会： 4回実施（8/31,10/26,2/1,2/8）						
・検討児童数： 90名（幼稚園39名、保育園51名）						
・統合保育対象児童数： 90名（幼稚園39名、保育園51名）						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	782	831	796	1,442	1,442	
一般財源	782	831	796	1,442	1,442	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	8,070	10,777	11,829	13,143	14,457	
事業コスト合計	8,852	11,608	12,625	14,585	15,899	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	保育支援検討委員会			対象名称 と単位	統合保育対象児(人)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	8,852	11,608	12,625	14,585	15,899	
対 象 数	56	81	90	100	110	
単位あたり経費(円)	158,071	143,309	140,278	145,850	144,536	
前 年 度 比		0.91	0.98	1.04	0.99	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	協議依頼児童数（人）	指標式と指標の説明	協議依頼児童数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	61.0	81.0	90.0		
目標	61.0	61.0	61.0	61.0	61.0
目標達成度（%）	100.0	132.8	147.5		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	統合保育となった対象児の割合（%）	指標式と指標の説明	統合保育児数 / 統合保育対象児数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		要援護障害児の処遇の推進等を目的とする保育支援検討委員会の運営に係る事業であり、現状を維持することが妥当と考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
特になし			検討対象児童の増加 検討児童に係る作業時間の増大		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			